

平成 30 年 7 月豪雨災害 活動記録



岐阜県 関市消防団

平成30年7月豪雨における「関市消防団」の活動について

活動日	24時間雨量	活動団員数	具体的な活動内容	場所名 (区域外の場合は、 市町村名)	関市の防災体制及び現場の状況等
7月4日	市役所 8.5mm 板取 120mm 上之保 36mm	招集なし	・団員の自宅待機・情報収集	関市全域	16:05 大雨警報（土砂災害）発表 →関市災害警戒本部の設置 20:20 長良川（美濃）水防団待機水位2.0m 23:00 長良川（美濃）氾濫注意水位3.2m 23:23 大雨警報（土砂災害）解除 →関市災害警戒本部の解散
7月5日	市役所 111mm 板取 246.5mm 上之保 159mm	179名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう、避難所運営補助	小屋名・池尻・小瀬・保戸島・下有知・東志摩地区	01:51 大雨警報（土砂災害）発表 →関市災害警戒本部の設置 19:35 洪水警報発表 20:00 避難準備・高齢者等避難開始情報発令 23:50 長良川（美濃）氾濫危険水位4.2m 到達 (翌日)0:00 避難勧告発令 (千足・植野地区)01:20 避難準備・高齢者等避難開始 情報発令 → 05:20 避難勧告等 解除
7月6日	市役所 55.5mm 板取 135.5mm 上之保 63mm	21名	・河川の巡視、避難準備情報の広報	武芸川町谷口・宇多院・平地区	00:15 避難準備・高齢者等避難開始情報発令 05:20 解除
		32名	・避難指示の広報、避難所運営補助	板取地域の一部	16:00 土砂災害警戒情報（板取地区）発表 16:30 避難指示発令 ※8日17:00まで継続
		161名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう、避難所運営補助	小屋名・池尻・小瀬・保戸島・下有知・東志摩地区	17:40 避難勧告発令 18:40 長良川（美濃）氾濫危険水位4.2m 到達 →（翌日）0:25 避難勧告 解除
7月7日	市役所 80.5mm 板取 200.5mm 上之保 81.5mm	26名	・避難指示の広報、避難所運営補助	板取地域の一部	12:10 避難指示発令 ※（翌日）17:27まで継続
		24名	・災害対策本部での団員指揮、情報収集、河川の巡視	市内全域	12:50 大雨特別警報発表 →災害警戒本部を災害対策本部に切り替え
		216名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう、避難所運営補助	小屋名・池尻・小瀬・保戸島・下有知・東志摩・千足・植野地区	19:15 避難勧告発令 20:30 長良川（美濃）避難判断水位3.8m 到達 21:10 長良川（美濃）氾濫危険水位4.2m 到達 →（翌日）09:00 まで継続
		53名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう	洞戸地域全域・武芸川町寺尾	20:00 避難勧告発令→ (翌日)17:27まで継続
		54名	・河川の巡視、避難勧告等の広報	武芸川町谷口・宇多院・平地区	22:45 避難勧告発令→（翌日）09:00まで継続

平成30年7月豪雨における「関市消防団」の活動について

活動日	24時間雨量	活動団員数	具体的な活動内容	場所名 (区域外の場合は、 市町村名)	関市の防災体制及び現場の状況等
7月8日	市役所 7.5mm 板取 26.5mm 上之保116.5mm	24名	・災害対策本部での団員指揮、情報収集、河川の巡視	市内全域	(前日) 12:50 大雨特別警報発表 →13:10 大雨特別警報解除
		25名	・避難指示の広報、避難所運営補助	板取地域の一部	(前日) 12:10 避難指示発令 →17:27 避難指示解除
		53名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう	洞戸地域全域・武芸 川町寺尾	(前日) 20:00 避難勧告発令 →17:27 避難勧告解除
		54名	・河川の巡視、避難勧告等の広報	武芸川町谷口・宇多 院・平地区	(前日) 22:45 避難勧告発令 →09:00 解除
		216名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう、避難所運営補助 ※下有知重竹地内のひ門を閉鎖したことによる内水氾濫の危険	小屋名・池尻・小瀬・ 保戸島・下有知・東志 摩・千足・植野地区	0:11 避難指示発令 (下有知重竹地区) 0:45 避難指示発令 0:54 避難勧告発令 (下白金・上白金) →09:00 解除
		107名	・河川の巡視、避難指示の広報、河川氾濫に備えた積土のう、津保川氾濫に伴う救助活動 ・土砂等撤去作業	武儀・上之保地域	0:45 消防団員招集 01:15 記録的短時間大雨 下之保・富之保で約100mm 01:40 津保川(下之保) 避難判断水位2.3m 到達 02:06 上之保事務所の防災無線でサイレン吹鳴実施 02:10 津保川(下之保) 氾濫危険水位2.7m 到達 02:37 避難指示発令→ 09:00 解除
		38名	・河川の巡視、避難勧告等の広報、河川氾濫に備えた積土のう、津保川氾濫に伴う救助活動 ・土砂等撤去作業	志津野・西神野・本 郷・坊地・上日立・ 上大野・多良木・上 肥田瀬	01:45 避難勧告発令→ 09:00 解除
		99名	・河川の巡視	上記地区(7月8日 中)以外の地域	危険な箇所がないかを巡視
		3名	・ドローンによる災害被害状況(河川の上流)空撮	板取杉島地区	雨量に対して河川の流量が少ないため調査
7月9日	市役所 5.5mm 板取 13.5mm 上之保 0mm	62名	・土砂等撤去(復旧)作業	武儀・上之保地域	被害棟数(住家・非住家) ※床下以上の合計 武儀地域 461棟・上之保地域 404棟
7月10日		40名	・土砂等撤去(復旧)作業	武儀・上之保地域	主に泥かき(道路や屋内)や災害ゴミの搬出撤去を実施

平成30年7月豪雨における「関市消防団」の活動について

活動日	24時間雨量	活動団員数	具体的な活動内容	場所名 (区域外の場合は、 市町村名)	関市の防災体制及び現場の状況等
7月11日		38名	・土砂等撤去（復旧）作業	武儀・上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施
7月12日		28名	・土砂等撤去（復旧）作業	武儀・上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施
		3名	・ドローンによる災害被害状況（小・中学校）空撮	富野・武儀地域	上空から被害状況を撮影
7月13日		37名	・土砂等撤去（復旧）作業	武儀・上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施
7月14日		56名	・土砂等撤去（復旧）作業	武儀・上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施
7月15日		32名	・土砂等撤去（復旧）作業	武儀・上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施
7月16日		5名	・土砂等撤去（復旧）作業	上之保地域	主に泥かき（道路や屋内）や災害ゴミの搬出撤去を実施

平成30年7月豪雨時の救助要請

・7月8日、常備消防指令センターで入電した救助要請で、常備消防だけでは対応できないため、地元消防団に応援要請があった。災害対策本部と上之保・武儀・富野分団で連絡を取り合い、救助に向かった。

受付時間	地区	対象者	概要	対応完了時間	対応機関等
2:10	上之保川合	男性1名	障害者であるため、避難できず	4:00	常備消防
2:22	上之保川合	高齢夫婦2名	浸水のため自宅から出られない	3:13	常備消防
2:40	上之保宮脇	家族4名	床上浸水してきた。2階で待機している。	7:07	水が引いたため、 救助不要
2:48	上之保川合	2名	避難できない	4:54	消防団
3:50	富之保岩山崎	65歳女性	胸まで浸水し避難できない	4:08	消防団
3:50	富之保栗野	家族3名	平屋建てで膝まで浸水	5:10	水が引いたため、 救助不要
3:55	下之保殿村	49歳男性	屋外で膝上まで浸水、動くことができない	5:30	自力で帰宅したため、 救助不要
4:20	下之保殿村	80歳代夫婦2名	浸水で避難できない	6:15	水が引いたため、 救助不要
4:30	下之保殿村	78歳男性	1階室内で肩まで水が浸かり、身動きできず	6:02	水が引いたため、 救助不要

平成30年7月豪雨の活動について

関市消防団 上之保分団

《5日から8日朝までの動き》

【5日（木）】

- ・前日も大雨警報が発表されていたため、副団長が武儀・上之保の分団長に対して、いつでも出られる体制を整えておくように指示する。

【5日～6日（木～金）】

- ・大雨警報が発表されたり、長良川の水位が上昇したりして、他の分団で招集がかかったところもあったが（板取地域の土砂災害警戒）、上之保地域は招集なし。

【7日（土）】 ※12:50 岐阜県初の大雨特別警報発表

- ・16時頃、本部からの招集指示により、副本部長以上が各地域事務所に待機する。
活動内容は、地域の情報収集と1時間おきに上之保地内を巡回。
- ・18時頃、上之保分団長が自主的に上之保事務所へ登庁。
- ・22時頃、断続的に降雨が続く（23時頃まで）。 ※津保川の水位は2m以下
- ・23時30分頃、一度雨が止んだと思ったら、再び非常に強い雨が降り始める。

【8日（日）】

- ・0時頃、広島や京都で大雨特別警報が解除され、関市も小康状態になったので、そろそろ解除かと思っていたが、0時45分頃、再び降り始める。断続的に強い雨のため、津保川の水位上昇。

【団員を招集する】

- ・1時20分頃、副団長が下之保の河川カメラ・水位計を見に行き、水位は2m位であった。
※武儀の下之保地域は過去にも水が浸かっているため、その地域を管轄する武儀第3分団に土のうを事前に準備するよう指示する。
- ・1時30分頃、副団長が武儀から上之保へ移動しようとするも、既に道路に水がついているところもあり、いつも水が浸かる地域まで巡回できなかった。近くの住民に避難の呼びかけを実施した。 ※寝ている人もいたし、呼びかけても逃げない人もいた。
- ・1時40分頃、屋外への避難は危険と判断し、垂直避難の呼びかけを団員に命令する。
※急激な浸水のため、一軒一軒しっかりと避難を呼びかける余裕がなく、少し声をかけたらずぐに次の家へ行かないといけなかった。寝ている方も多く、呼びかけても返答がない場合はドアを数回強くノックして、次の家の呼びかけに移った。
- ・2時頃、副団長が上之保地区で河川氾濫を確認？（暗くて良くわからない状態だった。）
また、副本部長が上之保事務所から分団詰所に向かう際、冠水している道路があった。夜間で激しい降雨のため、道路状況がはっきりわからず、走っていると車が少し浮いた。

《活動して思ったこと》

- ・消防団が声掛けをしても動かない人がいるので、行政が呼びかけても厳しいと思う。災害に対する危機感は個人差があるが、被害を受けてからでは遅いので、いかにして危機感を持たせるような意識付けをしたり、訓練をしたりしなければいけないと痛感した。
- ・道路や通信手段が遮断され、上之保分団の第1部と第3部は連絡が取れなかったのも、ものすごく不安だった。
※しばらくして、第1部は無線がつながり確認、第3部は水が引いてから詰所に行き確認した。
※携帯電話や携帯無線の不通により、団員の安否確認ができていない恐ろしさがあった。普段から通信手段を携帯電話に頼っているため、携帯電話が使えない状況になった場合に多少の戸惑いを感じた。携帯無線機の取り扱いを熟知しなければいけない。
- ・災害対策本部（市長）が、河川の水位やインターネットの数値を見て避難等の指示を判断するのは難しいことなので、地域の現場からの情報伝達が必要。

《関市消防団の課題と対策》

- ・各拠点詰所に招集するも、TVやラジオがないので情報収集できない。
→今年度中に多機能付防災ラジオを拠点詰所に配付します。
- ・携帯無線機の取扱いに不安がある。
→訓練時は積極的に使用し、本部への報告は無線通信で行うこととします。また、年度末に行う新幹部研修時に取扱いを説明していますので、団員へ周知してください。
- ・ライフジャケットの絶対数が不足している。
→現在450個を各分団に振り分けて配備していますが、まだまだ足りていないので、まずは来年度予算に計上しました。今後計画的に配備していきます。
- ・土のうをたくさん作成するも搬送する手段がない。
→計画的に消防車両で搬送するなど、分団で対応してください。
- ・本部（災害対策本部）がどのようなことをやっているのか？またどのような情報を必要としているのか？いまいち理解できない。
→地域の副団長・副本部長は災害対策本部に来たことがないので、今後の訓練や災害時に地域が手薄にならない程度に、災害対策本部での活動を経験していただく計画をしています。

富野地区



武儀地区



上之保地区

